

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年11月8日

東

上場会社名 株式会社robot home

上場取引所

コード番号 1435

URL https://corp.robothome.jp/

代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 古木 大咲

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 安井 慎二 (TEL) 03-6447-0651

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	7,956	40.0	706	40.3	689	39.6	661	7.9
2023年12月期第3四半期	5,682	51.8	503	34.7	494	21.4	613	86.0

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 630百万円(△5.5%) 2023年12月期第3四半期 666百万円(146.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第3四半期	7	36	—	—
2023年12月期第3四半期	6	82	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	13,369	9,044	67.6
2023年12月期	12,019	8,594	71.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 9,041百万円 2023年12月期 8,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	1.00	—	1.00	2.00	—
2024年12月期	—	1.00	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,000	50.7	800	6.8	750	1.7	700	△21.0	7	79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期3Q	91,127,000株	2023年12月期	91,127,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期3Q	1,242,800株	2023年12月期	1,242,800株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年12月期3Q	89,884,200株	2023年12月期3Q	89,884,200株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、個人消費・設備投資の改善や、雇用情勢・所得環境の改善等により、緩やかな景気回復基調が見られる一方で、世界的金融引き締めに伴う影響や、日本銀行の金融緩和政策の変更、資材・エネルギー価格の高騰等、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは、AI・IoT等の先端技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進、及びそれら技術を活用した、賃貸経営プラットフォーム「robot home」を継続的にアップデート。不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給から、賃貸管理の受託、売却・再投資を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルを生み出し、安定的にストック収入を拡大してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高79億56百万円（前年同期比40.0%増）、営業利益7億6百万円（前年同期比40.3%増）、経常利益6億89百万円（前年同期比39.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億61百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントの名称を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

① AI・IoT事業

AI・IoT事業におきましては、賃貸経営プラットフォーム「robot home」の継続的な開発・運用、及びサービスを提供。入居者、オーナー、メンテナンス会社、賃貸仲介会社、賃貸管理会社の全てのプレーヤーをプラットフォーム上で繋ぎ、賃貸経営の自動化を目指してまいります。さらに、これまで蓄積された「リアル×テクノロジー」の知見をDX領域へと展開し、不動産業界のみならず、他業界に対する「DX総合支援サービス」を提供しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4億63百万円（前年同期比49.4%増）、営業利益は1億64百万円（前年同期比45.3%増）となりました。

②robot home事業

robot home事業におきましては、AI・IoT事業で構築した賃貸経営プラットフォーム「robot home」を活用し、不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給（フロー領域）から、賃貸管理の受託（ストック領域）、売却・再投資（フロー領域）を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルの構築に努めてまいりました。

ストック領域におきましては、AI・IoTなどのコアテクノロジーを活用した賃貸管理RPAシステム「robot home for PM」の導入により、業務効率化されたPM業務を実施し、安定したストック収入を拡大してまいりました。また、メンテナンス領域への事業領域拡大、及び自社保証のシェア拡大等による持続的な収益基盤の拡大に注力いたしました。

フロー領域におきましては、購入サポートのみならず、資産形成サポート、売却サポートの更なる充実により、アプリ内での取引を活性化。プラットフォーム内の流通を促進することで、今後の収益基盤の更なる安定化に向けた取り組みに注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は75億11百万円（前年同期比39.7%増）、営業利益は17億58百万円（前年同期比44.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて13億50百万円増加し、133億69百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億89百万円、仕掛販売用不動産が5億65百万円、有形固定資産が5億53百万円増加した一方で、販売用不動産が1億98百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて8億99百万円増加し、43億25百万円となりました。これは主に、買掛金が78百万円、短期借入金が1億65百万円、長期借入金が5億93百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億50百万円増加し、90億44百万円となりました。これは主に、剰余金の配当1億79百万円を実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益6億61百万円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,718,875	5,208,564
売掛金	449,700	438,340
商品及び製品	20,670	13,505
販売用不動産	3,574,848	3,376,336
仕掛販売用不動産	146,158	712,012
貯蔵品	3,258	5,776
その他	240,760	280,410
貸倒引当金	△121,874	△119,006
流動資産合計	9,032,399	9,915,939
固定資産		
有形固定資産	1,031,187	1,584,866
無形固定資産		
のれん	181,090	171,389
顧客関連資産	69,873	65,842
その他	134,891	152,395
無形固定資産合計	385,854	389,626
投資その他の資産		
投資有価証券	1,071,928	1,023,175
繰延税金資産	232,038	250,935
その他	265,968	205,066
投資その他の資産合計	1,569,935	1,479,177
固定資産合計	2,986,977	3,453,671
資産合計	12,019,376	13,369,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	624,352	702,437
短期借入金	427,500	593,140
1年内返済予定の長期借入金	48,452	44,952
未払法人税等	28,898	8,210
預り金	1,160,212	1,201,922
賞与引当金	—	64,932
債務保証損失引当金	384,235	349,296
資産除去債務	34,337	—
その他	431,319	414,556
流動負債合計	3,139,307	3,379,449
固定負債		
長期借入金	218,730	812,157
資産除去債務	44,134	108,507
繰延税金負債	2,818	1,444
その他	20,212	23,603
固定負債合計	285,894	945,712
負債合計	3,425,202	4,325,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,460,469	7,460,469
利益剰余金	1,395,244	1,877,005
自己株式	△299,986	△299,986
株主資本合計	8,565,728	9,047,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,107	△6,346
為替換算調整勘定	560	583
その他の包括利益累計額合計	25,667	△5,763
非支配株主持分	2,778	2,722
純資産合計	8,594,173	9,044,448
負債純資産合計	12,019,376	13,369,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	5,682,832	7,956,085
売上原価	3,227,082	4,683,255
売上総利益	2,455,749	3,272,830
販売費及び一般管理費	1,951,854	2,565,990
営業利益	503,895	706,840
営業外収益		
受取利息	419	779
受取配当金	7,168	6,880
投資事業組合運用益	160	—
物品売却益	2,136	—
その他	4,162	1,052
営業外収益合計	14,047	8,713
営業外費用		
支払利息	9,431	13,254
支払保証料	2,066	1,019
投資事業組合運用損	2,203	4,138
支払手数料	7,050	6,459
その他	3,098	1,039
営業外費用合計	23,850	25,911
経常利益	494,091	689,641
特別利益		
固定資産売却益	130	—
投資有価証券売却益	164,751	—
新株予約権戻入益	15,773	—
資産除去債務戻入益	—	7,344
特別利益合計	180,655	7,344
特別損失		
投資有価証券評価損	37,836	26,710
特別損失合計	37,836	26,710
税金等調整前四半期純利益	636,911	670,276
法人税等	23,844	8,802
四半期純利益	613,066	661,473
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△190	△56
親会社株主に帰属する四半期純利益	613,257	661,530

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	613,066	661,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,313	△31,453
為替換算調整勘定	3,614	23
その他の包括利益合計	53,928	△31,430
四半期包括利益	666,994	630,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,185	630,099
非支配株主に係る四半期包括利益	△190	△56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結累計期間において、賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。当該変更による減少額7,344千円を変更前の資産除去債務残高から減額しております。この見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が7,344千円増加しております。

また、名古屋支店及び大阪支店の移転に関する決定を行ったことに伴い、移転後において利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ22,981千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
外部顧客への 売上高	306,569	5,376,262	5,682,832	—	5,682,832	—	5,682,832
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,270	—	3,270	—	3,270	△3,270	—
計	309,840	5,376,262	5,686,102	—	5,686,102	△3,270	5,682,832
セグメント利益 又は損失(△)	113,139	1,218,996	1,332,136	△1,472	1,330,663	△826,768	503,895

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
外部顧客への 売上高	444,374	7,511,710	7,956,085	—	7,956,085	—	7,956,085
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,639	38	18,677	—	18,677	△18,677	—
計	463,013	7,511,748	7,974,762	—	7,974,762	△18,677	7,956,085
セグメント利益 又は損失(△)	164,400	1,758,193	1,922,593	△1,077	1,921,516	△1,214,676	706,840

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「Robot Home事業」としていた報告セグメントの名称を「robot home事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	66,313千円	153,992千円
のれんの償却額	9,701千円	9,701千円